

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	15120	電話	042(753)2401
担当部課名	生涯学習部	視聴覚ライブラリー		
事務事業名	視聴覚ライブラリー自主事業費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	63以前年度
施策名	第2施策	生涯学習活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市視聴覚ライブラリー条例

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
視聴覚教材の製作及び利用方法や機器操作の習得ができる各種講習会を開催し、視聴覚教育の普及と生涯学習の推進を図る。	一般
	対象数 200人(定員)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> 写真講習会(2回) ビデオ講習会(2回) 16ミリ映写機操作認定講習会(4回)内職員対象1回 スタジオ利用講習会(1回) 	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	対前年度講習会経費の比較	現年度講師謝礼/前年度講師謝礼*100	限られた予算で、より効果的な講習会を実施できるよう模索する。	86	60	101	71	100
活動指標	講習会参加人数の分析	現年度講習会参加人数/現年度講習会定員*100	毎年、講習会の参加状況を把握し、より効率的な内容で実施できるよう分析する。	82	72	82	80	80

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	603	361	363	257	257
決算(予算)額	603	361	363	257	257
人員・時間数	人 149h	人 149h	1人 149h	人 149h	1人 149h
人件費	620	620	620	620	620
その他経費	0	0	0	0	0
合計	1,223	981	983	877	877
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	0	0	0	0	0
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	講習会の中には、募集が殺到するものや、人がなかなか集まりにくいものなどバラつきがある。より効果的な方法を考えていかなければならない。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 16ミリ映写機においては、この認定講習会により資格を取得することができる価値のある講習会となっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	講習会を受講された方々が、現場(保育園・幼稚園等)に戻り、活躍していくことは極めて有効である。
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	各講習会について、参加状況等を考慮し、毎年見直しを行っている。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	募集要項に基づき先着順に参加者を決定している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 各講習会について、実施回数、定員、内容、そして、新たな実施方法等の必要性も考え、見直しを重ねていくことでさらなる成果を向上させたい。	手段	市内のボランティア団体に協力を依頼し、できる範囲内で事業削減を検討していく。
		削減額	12 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		近隣の自治体と比較してみると、講習会については、ほぼ同程度の内容で実施している。本市では1回として行っているものを何回かに分け、項目ごとに実施しているものもあった。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	視聴覚ライブラリーは、生涯学習社会を支える人材や市内のボランティア団体を育てるため、各種講習会を開き、視聴覚分野を支援していかなければならない。そして、講習会終了の方々が視聴覚教育の良き理解者として、かつ強力な支援者として活用していくことが望ましい。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

業務(機材、教材の購入、貸し出し)の民間委託化を検討すること
